

Information

「2018ライフサイエンス知財フォーラム」

AI/ビッグデータがもたらすライフサイエンス革命～未来の医療と将来の創薬、その可能性と課題～

2018年2月13日(火)午後1時から東京・御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンターにて「2018ライフサイエンス知財フォーラム」を開催します。

2015年秋、AlphaGo(R)が初めて人間のプロ囲碁棋士を破り、AI・ディープラーニングの威力を世に知らしめました。医療の世界では、たとえば2010年頃から米国においてクリニカルシーケンスが行われ、ゲノム・オミックスの臨床実装と医療研究活用が始まっており、創薬標的の創出や新規ヘルスケアサービスの提供といった本格的なビッグデータの2次活用も進みつつあります。

我が国では、未来投資戦略2017(閣議決定)で「健康寿命の延伸」を目指し、データ利活用基盤の構築、AIを活用した診断・医薬品開発等に取り組むことが掲げられています。現に「保健医療データプラットフォーム」の構築やAIを用いた総合診療支援システムの開発に熱い視線が注がれており、また、製薬企業においては、従来型の創薬研究から脱皮して、AI/ビッグデータの利活用により創薬・臨床研究に変革を起こすことに期待が集まっています。

一方、知的財産の観点では化合物を特許により保護する従来型のシンプルな戦略から、AI/ビッグデータ時代の到来に際して、革新的な医療技術/創薬技術の発展を支えるために、なにをどのように保護するか、データ流通のあり方、成果物の利益配分等の多面的な視点が必要とされています。

本フォーラムでは、AI/ビッグデータといった技術革新がもたらすライフサイエンス分野でのイノベーションの進展について、最先端の研究成果や事例を紹介し、その背景にある知的財産面での課題も掘り起こし、医療現場を含めた産官学連携のあり方、知的財産制度面での今後の課題等、産官学を代表する方々に、垣根を越えて議論していただきます。

● 実施概要

| 日時 | 2018年2月13日(火)

| 場所 | 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター：東京都千代田区神田駿河台4-6

| フォーラム | 午後1時～午後5時(参加費無料) ※ 講演者、パネリスト、内容等は変更になる場合があります。

● プログラム(敬称略)

▶ 基調講演

医療におけるAIの活用と展望

東京大学大学院医学系研究科 医療情報学分野 教授 大江 和彦

AI創薬の現状と可能性

京都大学大学院医学系研究科 人間健康科学系専攻
ビッグデータ医科学分野 教授 奥野 恭史

新しい時代の新しい知財ビジョン

内閣府 知的財産戦略推進事務局 住田 孝之

▶ パネルディスカッション

〈モデレーター〉

東京大学 政策ビジョン研究センター 教授 渡部 俊也

〈パネリスト〉

大江 和彦/奥野 恭史/住田 孝之/上野 剛史/森田 正実/
森平 浩一郎

▶ 一般講演

(仮)IBMにおけるデータ時代への対応と知的財産戦略

日本アイ・ビー・エム株式会社 理事・知的財産部長 上野 剛史

(仮)医療健康分野ビッグデータの期待される活用と課題
(2次活用の立場から)

医薬産業政策研究所 統括研究員 森田 正実

10年後の創薬と知的財産部

日本製薬工業協会 知的財産委員会委員長/アステラス製薬株式会社
知的財産部長 森平 浩一郎

[お問い合わせ先]

2018ライフサイエンス知財フォーラム準備委員会事務局

(日本製薬工業協会 知的財産委員会 担当：青天目/藤井)

Tel. 03-3241-0335 Fax. 03-3242-1767

E-mail: ip-forum2018@jpma.or.jp